

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【公開番号】特開 2005-296346 (P2005-296346A)
 【公開日】平成 17 年 10 月 27 日 (2005.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-042
 【出願番号】特願 2004-117038 (P2004-117038)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 22 日 (2006.9.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

さらに以下の構成をも備えることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機用透明板ユニット。

(f) 前記保持部が、その厚さ寸法が透明板ユニットの最大厚さ寸法の 2 分の 1 以下で、その裏面が、前記透明板ユニットの最も裏側の面から該透明板ユニットの最大厚さ寸法の 2 分の 1 以上前方に位置する様に設けられていること。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 0】

ここで、本発明の遊技機用透明板ユニットは、特に、上述した (ア) の方の構成を採用し、さらに以下の構成をも備えるものとするのが望ましい。

(f) 前記保持部が、その厚さ寸法が透明板ユニットの最大厚さ寸法の 2 分の 1 以下で、その裏面が、前記透明板ユニットの最も裏側の面から該透明板ユニットの最大厚さ寸法の 2 分の 1 以上前方に位置する様に設けられていること。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 2 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 2 2】

なお、(f) の構成を採用するに当たり、前記保持部の前面を前記透明板ユニットの表面と略面一とする様にも構成しておくとよい。ここにいう「略面一」とは、本発明により達成すべき作用・効果の内、特に重要な「奥行き寸法の抑制」について、「面一」としたときと同程度の作用を奏する程度の微少な段差ができる様な関係となっている場合も含む。